

第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 NPOかなびの丘

②評価調査者研修修了番号

SK2021195
SK2021198
SK2025042

③施設名等

名称：	ガーデンエル
施設長氏名：	六川徳子
定員：	30名
所在地(都道府県)：	大阪府
所在地(市町村以下)：	東大阪市上四条町24-23
T E L：	072-985-4772
U R L：	https://el-roi.jp/el/rinen.html
【施設の概要】	
開設年月日	2010/4/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人イエス団
職員数 常勤職員：	36名
職員数 非常勤職員：	9名
有資格職員の名称（ア）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（イ）	精神保健福祉士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（ウ）	保育士
上記有資格職員の人数：	27名
有資格職員の名称（エ）	社会福祉主事
上記有資格職員の人数：	3名
有資格職員の名称（オ）	看護師
上記有資格職員の人数：	4名
有資格職員の名称（カ）	公認心理師
上記有資格職員の人数：	1名
施設設備の概要（ア）居室数：	5室
施設設備の概要（イ）設備等：	
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

④理念・基本方針

<p>ミッションステートメント2009 わたしたちは命が大切にされる社会をつくりだす。 わたしは隣り人と共に生きる社会をつくりだす。 わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす。 わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくりだす わたしたちは、平和をつくりだす。</p>
--

⑤施設の特徴的な取組

- ・小舎制を取り入れています。6名定員のホームが4つあり、それぞれにミニキッチン、トイレ、玄関が設置されています。少しでも家庭環境に近い形で生活できるようにしています。
- ・個別担当制をとり、特定の大人との愛着形成ができるよう配慮しています。個別にかかわる時間を設定し、外出などの機会も作っています。アタッチメントを正しく理解するための研修に積極的に参加しています。
- ・親子訓練棟の活用。担当職員と子どもがそこで、家庭的な体験をすることができます。また自宅へ外泊する前段階として、保護者との宿泊をすることができます。家庭的な部屋での面会ができます。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2025/6/5	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2026/2/9	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和4年度（和暦）	

⑦総評

【特に評価の高い点】

■理念の明文化と第三者評価を活かした改善の取り組み

法人理念を基盤に施設独自の理念と基本方針が明確化され、また過去に受審した第三者評価の結果で、指摘された課題や改善点について分析を行っています。

■職員の声を活かし職場環境改善に向けた仕組みの整備

日常業務の中では表出しにくい職員の声や悩み、気づきなどを丁寧に吸い上げることを目的に職員アンケートを定期的実施し、メンタルヘルス不調の予防や早期対応につなげています。またその結果をもとに、職員が安心して働ける環境づくりに取り組んでんでいます。

■養育・支援のマニュアル化の整備

各種マニュアルを整備し、権利擁護やプライバシーの保護にかかわる姿勢を明示し職員会議等で周知徹底しています。

■人材の確保・定着、スーパーバイズ体制等による育成体制の構築

人材の確保と定着に力を入れています。人材紹介会社の活用や転職サイトへの情報掲載、説明会の開催、職員の卒業校へのアプローチなど幅広い方法で採用活動を行っています。採用後は、互いに支え合いながら働ける職場づくりを目指し、安心して働ける環境を整えることで定着率向上を図っています。またスーパービジョンの仕組みや研修制度を活用しながら、職員の能力開発やキャリア形成を支援し、毎月の虐待チェックリストによる点検や施設長との個別面談等で、職員各々の日々の養育・支援について確認する仕組みを整えています。

■多職種連携による食生活の充実、食育の取り組み

栄養士や調理員、保育士が連携して子ども一人ひとりの発育状況や体調を考慮し、食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫がなされています。ホームクッキングの実施や中庭菜園で収穫した野菜を子どもたちと一緒に調理する等、様々な「食育」への取り組みも行っていきます。

【改善が求められる点】

■計画の整合性と実践性を高める仕組みづくりの必要性

法人策定の計画と施設立案の計画の二種類が存在しています。しかし、現時点で双方の計画の明確な連動性が十分に確保されているとは言い難く、両者の整合性や相互補完性を高めることが今後の課題です。

■保護者や地域の方々からの意見が述べやすい仕組みの工夫

保護者等が相談や意見を述べやすくすること、また近隣の地域住民の意見も広く求めるために、意見箱の設置場所や周知等の取り組みの工夫が望まれます。

■子どもの主体性を保障できる更なる取り組み

縦割りのホーム制による月齢幅の制約もありますが、個々の子どもが望むタイミングで自分の所有玩具を取り出すことができるように、部屋の使用方法や遊び方などを工夫することが望まれます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

職員配置、子どもの年齢構成、部屋の環境構成上、子どもが安全に過ごせることに重きを置いていることもあり、子どもそれぞれが望むタイミングで遊びたい玩具で遊ぶことが十分にできていませんでした。以前の第三者評価受審でもご指摘いただいた点を試行錯誤して、小さな棚の設置、おもちゃを小分けにして配置するなど、できる事を試しながら、まだよい形ができておりませんでした。今回も子ども達の遊びを充実させて、子どもの成長発達により良い環境設定について助言も頂きましたので、今後も試行錯誤し、より安全に主体性を育める遊びの環境設定をしていきたいと思っております。

今回も、自分たちでも課題だと思っていることについて、一緒に整理していただき、具体的にどうしていくのが良いのかを一緒に考えて助言をいただきました。前回の第三者評価以降、人材育成、職員処遇、職員採用に力を入れてきました。その点について整理していただけたことは、大変ありがたく思っています。

課題として頂いた法人と施設の事業計画の連動性について、来年度は長期計画を策定する年度でもありますので、その点をより意識して策定していきたいと思っております。

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三 者 評 価
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p>	
<p>■2009年法人で「ミッションステートメント」を策定し、これに基づき理念や方針が定められ施設内掲示とともにパンフレットやホームページに掲載して広く周知しています。具体的で日々の業務や目標に結びつけやすい内容となっています。</p> <p>■施設の玄関には木の温もりを感じる空間があり、そこに掲げられた「憲章」から施設の理念や目指す方向性を来訪者が自然と目にすることができます。</p> <p>■保護者に対して理念や方針を記載したパンフレットを配付し、説明の機会は設けられいますが、十分とは言えません。</p> <p>■入職前研修（1月）や採用時オリエンテーション（3月）の際に、また職員研修や会議を通じて周知が図られており、職員会議では毎回理念や方針の読み上げを行い、理解を深める取り組みが継続されています。</p>	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とするこどもの推移、利用率等の分析を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■全国・近畿乳児福祉協議会、府社会福祉協議会児童施設部会、法人理事会等から情報を得、また、それらが主催する研修にも参加し状況の把握に努めています。地域の健診時には母親の様子を観察するほか、児童相談所や保健師からの情報収集にも努めています。</p> <p>■主任会、ユニットリーダー会議、エル会議等では、社会福祉全般の動向、入所依頼と受入れ件数、ショートステイの状況など、経営に関わるさまざまな情報が共有されています。</p>		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■法人、施設における各種会議では、前年度の経営資料を含む各種資料を配布し、現状の課題や改善策について話し合いを行っています。</p> <p>■施設長・事務長会議では、月次資産推移表を用いて財務状況を分析し、その結果を主任以下の職員にも共有しています。こうした情報は職員会議でも周知され、課題への具体的な取り組みに活かされています。</p> <p>■子どもの状況に応じて職員体制を柔軟に変更するなど、現場のニーズに即した対応も行われています。</p>		

3 事業計画の策定

		第三者 評価
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■法人および各施設では、それぞれ5年間の中長期計画を策定し、経営の方向性と具体的な取り組みを明確にしています。事業所の中長期計画には、家庭的擁護推進計画、ミッションステイトメント、施設運営指針のほか、「小規模かつ地域分散化」「高機能・多機能化」「機能転換」に向けた方針が盛り込まれており、長期的な視点に基づいた運営が行われています。</p> <p>■里親支援機関B型の運営についても、長期的なプランのもとで活動を展開しています。事業計画は主任会議およびユニットリーダー会議において策定されており、その過程で中長期計画についても、経営環境の変化に応じて適宜修正が加えられています。</p> <p>■各課題の状況分析を行い、年次計画と達成目標を設定。これらの内容は職員に周知し組織全体で共有されています。</p>		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■施設では法人の中長期計画を基盤として、事業計画書や報告書、各ユニットごとの事業計画を策定しています。これにより、ホーム全体で統一した方針のもと、養育方針の共有と実践が図られています。</p> <p>■「小規模化」「地域分散化」の方針に基づいて作成された単年度計画も職員に配付されており、施設運営の方向性が明確に示されています。目標設定にあたっては、実績につながるよう具体性を持たせるとともに、達成度を測るための評価指標も盛りこんでいます。</p>		

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■施設ではユニット単位で事業計画案を作成し、年度末にはホーム全体の事業計画を策定しています。事業計画には、「適切な養育の中で安全に過ごす」「家族とのつながりを感じられるようにする」「月齢に応じた遊びを通じて発達を促す」「他のホームと連携し、円滑なホーム移動を実現する」といった方針が盛り込まれており、健康管理・衛生管理・安全管理・行事計画など、日々の運営に関わる重要な項目も含まれています。

■これらの計画は印刷物として職員に配付され、主な内容については会議の場で説明が行われ、職員への周知が図られています。今後は、法人全体の事業計画についても、共有と理解の促進が望まれます。

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■事業計画については、施設のホームページ上に掲載することで情報提供を行っていますが、それ以外の方法による保護者への周知は行っていません。

■児童福祉法第28条に基づく申し立てや一時保護など、施設の実態上、保護者に対して情報開示を控える必要があるケースが含まれているため、施設としては、状況に応じて適切な情報の周知の在り方を判断し、慎重に対応しています。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価
①	<p>8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的を受審している。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■ホーム会議やケース会議、自己評価の実施、虐待防止のためのチェックリストの活用、ユニットリーダーによる会議録の作成、支援計画票の運用、全職員へのスーパーバイズなどを通じて、日々の支援の質を高める努力が継続的に行われています。</p> <p>■これらの取り組みは、主任会において分析・評価がなされ、その結果はユニットリーダー会議や職員会議を通じて組織内で共有されています。特に子どもの養育に関する項目については、個人記録、月まとめ、支援計画の流れの中でPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）に基づいて運用されており、継続的な改善を図っています。</p> <p>■第三者評価に関する項目について、受審年度以外の年でも全職員が参加して自己評価を行っており、施設全体での意識向上と質の維持に努めています。</p> <p>■養育や支援に関する課題については、月に一度開催されるホーム会議において定期的に共有され、職員間での情報交換と対応の検討が行われています。</p>		
②	<p>9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■施設では複数の会議において運営上の課題や支援内容を取り扱っており、それらの内容は会議録や事業計画に記載されています。特に主任会およびユニットリーダー会議では、課題の抽出と改善策の検討が行われ、その結果は職員会議や掲示、連絡ノート等を通じて職員間で共有されています。</p> <p>■施設全体としては、毎年自己評価を実施しており、継続的な積み上げにより、職員の意見が反映されたきめ細かな内容となっています。自己評価の結果は文章化され、職員間で共有されることで、組織全体の意識向上と改善につながっています。</p> <p>■支援に関しては、担当職員が支援計画を立案し、ホーム会議にて課題を話し合ったうえで、改善点や留意点を記載した会議録を作成しています。これを全職員が閲覧することで、子ども一人ひとりの状況に応じた柔軟な職員体制の構築と対応が可能となっています。</p> <p>■2023年度より一時保護児童に関するアセスメント様式の整理が進められ、現在では施設内に定着し、支援の質向上に寄与しています。</p>		

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者評価
①	<p>10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■施設長は、施設運営の責任者として、組織全体の方針決定や職員体制の調整、危機管理への対応など、多岐にわたる役割を担っています。施設長会議や主任会議、ユニットリーダー会議を通じて、施設の運営方針や課題の共有を行い、職員会議ではその内容を資料として配布し、周知を図っています。</p> <p>■職務分掌は毎年度見直しが行われ、職員の体制や家庭の事情などを考慮したうえで、3月末に次年度の体制を整え、4月の会議にて職員へ周知しています。災害時の対応に関するマニュアルにおいても、施設長の指揮のもと、役割分担が明確に定められています。</p> <p>■施設長の役割や責任については、職員会議のほか、広報誌などを通じて発信されており、職員や関係者に対しても明確に示されています。</p>		
②	<p>11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。</p>	<p>a</p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p> <p><input type="radio"/></p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■施設長は施設運営の責任者として関連する各種会議に積極的に参加し情報収集に努めています。必要に応じて社会保険労務士への相談も行い、法制度の改正があった際には職員会議を通じて、その内容を職員に周知しています。</p> <p>■法令遵守の観点から施設長は職員に対してスーパーバイズを行っており、職員の意向調査を年に1回実施しています。さらに、事案の発生時や職員体制の変更時には、個人面接やアンケートを通じて現場の職員の声を聴き、運営に反映させるよう努めています。今後、併設の養護施設との連携を図りながら、展開していく予定です。</p>		

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>
	(社会的養護共通)	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■施設長は、施設運営の中心的役割を担いながら、個人面談や全体へのアンケート調査を定期的に実施し、職員の声を丁寧に拾い上げる努力を重ねています。また、毎日の申し送りや各種会議、子どものための委員会にも積極的に参加し、子どもたちの様子を把握することに努めています。

■会議の場や日々の業務の中では、職員に対して継続的な教育を行い、独自のスーパーバイズ体制を導入し、スーパーバイズシートから得られる情報をもとに的確な助言を行っています。研修についても、適切な時期に受講者を選定し計画的に参加させることで、職員一人ひとりが自己研鑽に取り組み、実績につながるよう支援しています。

■施設長は、役職者に限らず全職員に対して指導・助言を行っており、日々の現場の状況を確認しながら、職員の資質向上に向けた情報収集と対応を行っています。特に指導的立場にある職員に対しては、スタッフへの指導方法について助言を行い、全職員が質の向上に向けて主体的に取り組めるよう支援しています。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

■施設長は事務長と連携しながら、毎月併設の児童養護施設の施設長との施設長会議にて月次資産収支計画書をもとに収支状況の確認を行っています。過去3年間の月次資金収支との比較を通じて、人件費の推移を含めた予算と実績の分析を継続的に実施しており、施設経営の安定と透明性の確保に努めています。

■人事や職員の就業環境については、個人面談や社会保険労務士との相談を通じて課題解消に努め、主任会議にて「どのように働くか」「どのように指導するか」を話し合い、必要に応じて見直しを図っています。その内容はユニットリーダー会議で共有され、職員間の理解と連携を促進しています。

■施設の経営状況を踏まえながら、人員配置や入退所初期対応、施設運営に必要な体制の構築にも取り組んでいます。特に「安全に養育ができること」を最優先に考え、養育の必要度に応じて、加配職員の配置や勤務体制の調整を柔軟に行っています。

■職員の専門性向上と実践力の強化、自信と意欲をもって主体的に業務に取り組むことを目的として、職員同士による独自のスーパーバイズ体制を整備・運用しています。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者評価
①	<p>14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。</p> <p>(社会的養護共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■ ホームページの活用や転職サイト、毎月の説明会や希望に応じて行なう個別説明会など様々な採用活動の取り組みを行っています。</p> <p>■ 研修等を計画的に実施し育成に努めています。人材の確保に向けて大学のゼミや授業への講師派遣を実施し、学生アルバイト、ボランティア、実習生の受け入れも行っており、その中から就職希望者の発掘を行っています。</p> <p>■ 配置基準を上回る人員と加算職員の配置を行い人員体制の充実に努めています。日中も夜間も支援を充実させ、利用者の確保のため、夜勤の体制の整備にも努めています。</p>		
②	<p>15 総合的な人事管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。</p> <p><input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■ 施設では、職員の希望や適性を踏まえた人事配置を行うため、年に一度「職員希望調査」を実施し、異動希望等の確認を行っています。職員に求める人物像は明確にされており、年度初めの職員会議等を通じて周知されています。</p> <p>■ 役割や経験年数に応じて期待される職員像についても具体的に示されており、職員が自身の成長目標を持って業務に向かえるよう取り組んでいます。</p> <p>■ 定められた評価基準に基づき施設長が評価を行っており、賞与等の処遇に反映されています。また施設独自のスーパーバイズ体制を整備・運用しており、職員同士が互いに意見・助言を交わしています。</p> <p>■ 今後、人材確保と定着を最優先課題と位置づけたうえで、能力開発・人材活用・処遇・評価などを総合的かつ一体的に運営する人事マネジメントの仕組みを構築し、職員が安心して働き続けられる環境づくりが望まれます。</p>		

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員への相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 職員が安心して働ける職場づくりを目指し、アンケートを実施して日常では聞き取りにくい意見や要望を集めています。これにより、職員の声を反映した改善が進められています。
- 勤務シフトの組み合わせを工夫するなど、心身の健康に配慮した働き方を推進しています。
- 相談体制として、勤続3年目以下の職員には年2回、それ以上の職員には年1回、心理士による個別相談の機会を設けています。必要に応じて、随時心理士との面談につなげることも可能で、職員が安心して相談できる環境が整えられています。
- ハラスメントの通報窓口は外部の社会保険労務士に委託しており、第三者性と専門性を確保した体制を築いています。
- 子育て中の職員には短時間勤務制度を導入し、家庭と仕事の両立を支援しています。また22時から7時までの夜勤専従職員を雇用することで、他の職員の負担を軽減しています。
- 施設独自の福利厚生として、職員提案により研修後に食事会を開催し、職員同士の交流を深めています。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 施設長は、職員からの希望があれば、面談を行っています。
- 事故や困難な事案については職員全体で事例検討を行い、対応方法の改善や研修内容の充実に活かしています。
- 専門性の向上と実践力の強化を目的として、役職・勤続年数・年齢などを考慮して職員同士がペアを組み、業務面やメンタル面に関するスーパーバイズを施設全体で仕組みとしています。
- 今後は、スーパーバイズ体制と目標管理制度を総合的な人事管理システムの構築に結びつけて、さらなる仕組みづくりが望まれます。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 大阪府社会福祉協議会などをはじめとする外部研修の受講や法人内研修を計画し、養育の向上につながる専門性の知識の向上を目指した、多彩な研修をオンライン、対面の両面で実施しています。
- 外部研修に派遣されていた職員は研修先で渡された資料だけではなく、詳細な研修内容を書いた研修報告書を作成して、情報を共有しています。
- 今後は階層別の研修計画の充実と、受講が実務に反映しているかの評価を行っていくことが望まれます。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 職員の成長と専門性の向上を目的として、オンライン研修・対面研修の両方に積極的に参加しています。勤務年数に応じた研修機会を設けることで、職員一人ひとりの熟練度に合わせた知識や技能の習得を支援しています。
- 法人内の研修体制も充実しており、階層別・テーマ別の研修が計画的に実施されています。また施設が直面する状況（例：被災後の減災対策など）については、会議で話し合い、必要な研修の受講を促しています。
- 新任職員に対しては、法人の理念や方針に即した2日間の導入研修を実施しています。この研修は「仲間と私に気づく」「グループの中での私への気づき」「仲間と語らい」「ミッションステートメント」「社会の中での私への気づき」「働く私への気づき」という6つのテーマで構成されており、職員としての意識形成とチームの一体感を育む内容となっています。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 学校実習の受け入れにあたり、職員向けの心得を作成しています。この文書には、実習の目的、流れ、注意点などが明記されており、職員が共通理解を持って実習生を受け入れられるよう配慮されています。
- 実習指導に関しては、指導職員に対して研修形式ではなく、実習担当者が事前に個別で説明を行うことで、実習生の受け入れ準備を進めています。
- 保育士や看護学生の実習を継続的に受け入れており、現時点では社会福祉士実習の指導者研修の受講者はいません。
- 実習内容については、学校側と実習期間中に訪問指導を通じて連携を図りながら、施設が設定した内容に基づいて実施しています。現在、年間で約7校から10名以上の実習生を受け入れています。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価																		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 258 464 331">①</td> <td data-bbox="464 258 1433 331">21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</td> <td data-bbox="1433 258 1511 331">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 331 1433 410">□ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</td> <td data-bbox="1433 331 1511 410">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 410 1433 489">□施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。</td> <td data-bbox="1433 410 1511 489">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 489 1433 569">□第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。</td> <td data-bbox="1433 489 1511 569">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 569 1433 648">□法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。</td> <td data-bbox="1433 569 1511 648">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 648 1433 705">□地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</td> <td data-bbox="1433 648 1511 705">○</td> </tr> </table>	①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a		□ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○		□施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○		□第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○		□法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○		□地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○	
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a																	
	□ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○																	
	□施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○																	
	□第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○																	
	□法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○																	
	□地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○																	
【判断した理由・特記事項等】																			
<p>■法人および施設の理念・基本方針・予算決算・事業計画・事業報告などをホームページ上で公開しています。また、苦情相談の内容と対応結果についてもホームページで公表しています。</p> <p>■第三者評価の結果については、全国社会福祉協議会のホームページまたはWAMNETで、誰でも確認できます。</p> <p>■地域向けの広報誌は配布していませんが、理念や基本方針を紹介するパンフレットを作成し、必要に応じて配布しています。さらに、里親制度に関する広報活動としてチラシを作成して地域でのポスティングを行い、またSNSを活用した情報発信などにも積極的に取り組んでいます。</p>																			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 1016 464 1124">②</td> <td data-bbox="464 1016 1433 1124">22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</td> <td data-bbox="1433 1016 1511 1124">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1124 1433 1204">□施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</td> <td data-bbox="1433 1124 1511 1204">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1204 1433 1283">□施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</td> <td data-bbox="1433 1204 1511 1283">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1283 1433 1363">□施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。</td> <td data-bbox="1433 1283 1511 1363">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1363 1433 1419">□外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</td> <td data-bbox="1433 1363 1511 1419">○</td> </tr> </table>	②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a		□施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○		□施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○		□施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○		□外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○				
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a																	
	□施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○																	
	□施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○																	
	□施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○																	
	□外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○																	
【判断した理由・特記事項等】																			
<p>■施設として、毎月会計士による経営・経理面のチェックを受けており、財務管理の適正化に努めています。運営規定や経理規程などの各種規程が整備されており、職員がいつでも事務所で閲覧できる環境を整えています。</p> <p>■職務分掌は職員に配付されており、施設長および職員それぞれの役割・権限・責任が明確に示されています。これにより、業務の分担と責任の所在が明確化され、組織運営の透明化を図っています。</p> <p>■法人監査は定期的に行われており、その結果は職員会議で報告されています。指摘事項については、改善策を講じるなど、適切な対応が行われています。</p> <p>■乳児院と児童養護施設の両施設長で毎月会議を持ち、相互で運営状況の確認がなされています。ユニットリーダー会議やエル会議では経理に関する説明も行い、経営面でも職員間での情報共有と理解促進を図っています。</p>																			

4 地域との交流、地域貢献

		第三者 評価
(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
①	23 こどもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
	<input type="checkbox"/> こどもの個別的状況に配慮しつつ地域行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設やこどもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々のこどものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■地域との自然な交流を大切にしており、職員には通勤時や子どもの散歩の際など、近隣住民とのあいさつを積極的に交わすよう奨励しています。こうした日常的な関わりを通じて、地域との良好な関係構築に努めています。</p> <p>■併設の児童養護施設が自治会に加入し、地元のお祭りでは児童養護施設の子どもたちが神輿に参加するなど、地域行事への参加も積極的に行っています。その関係もあって、地元の方からの米など農産物の寄贈があります。</p> <p>■生協からの物品購入、地域の病院や公園、商店街の利用など地域資源を活用しながら日常的な交流を行っています。</p> <p>■ボランティアの受け入れにも前向きに取り組んでおり、地域住民との交流は主に散歩などを通じて継続的に行われています。外出先は子どもの年齢や発達段階に応じて選定されており、個々のニーズに即した養育が実践されています。</p> <p>■今後、これらの地域との関わりについて、施設としての方針や取り組みを文章化し明確に示していくことが望まれます。</p>		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対してこどもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■ボランティア受入れに関するマニュアルを整備しており、希望者には見学やオリエンテーションを実施しています。マニュアルには、受入れ条件や活動分野が明記されているほか「やらせてやる」「やってあげる」といった一方的な関係ではなく「やっていただく」「やらせていただく」といった相互尊重の姿勢を重視する基本方針が示されています。</p> <p>■大阪府社会福祉協議会による現場体験事業、市のサマーボランティア、抱っこボランティアなど、地域の取り組みに積極的に協力し、幅広くボランティアの受入れを行っています。</p> <p>■今後、学校との連携に関する内容もマニュアルに盛り込み、より体系的な受け入れ体制の構築が望まれます。</p>		

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々のこどもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、こどものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○

【判断した理由・特記事項等】

■児童相談所、家庭児童相談室、病院、保健センターなど関係機関の電話番号一覧資料を作成し、必要時に迅速な連携が図れるよう備えています。これらの機関との窓口は、家庭支援専門相談員や看護師など、専門職の職員が担当しており、随時カンファレンスを実施しています。

■里親支援専門相談員は、支部会や里親会に月1回参加しており、情報交換と支援体制の強化に努めています。

■地域の関係機関や団体と共有すべき課題については、東大阪市東地区の福祉施設とのネットワーク会議に参加することで連携を強化しています。

■ショートステイの受け入れをほぼ毎月実施しており、緊急な一時保護の受け入れも多く行っています。保護者のもとに子どもが戻った後も、年賀状や暑中見舞いの送付を通じてアフターフォローを行い、継続的な関係づくりに努めています。

■社会資源の情報共有は、システムや申し送り、職員会議、ホーム会議などを通じて行われていますが、全職員が確実に把握できるよう、今後はさらなる周知徹底が望まれます。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■施設の性格上、地域との十分な交流を行うことは容易ではありませんが、日ごろの住民との接触や行事の機会をとおして、また、里親相談会の開催などによって地道にニーズの把握に努めています。

■市役所での月一回の里親相談会に参画しています。また児童施設部会を通して、しあわせネットワークへの資金支援を行っています。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

■地元市はじめ3市とショートステイ事業の契約を結んでいます。また、里親相談会も市役所で行っています。
 ■防災訓練の実施や、地域住民をも意識した災害対応食品・備品の備蓄など、災害時に地域と協働できる体制づくりにも取り組んでいます。
 ■施設の性格上、地域の福祉ニーズや課題の十分な把握には制約がありますが、今後、地域との協働を意識した事業計画の策定や活動の展開が望まれます。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 こども本位の養育・支援

(1) こどもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価
①	28 こどもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、こどもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■「子どもの最善」を理念に掲げ、ペアレントトレーニング講習会の開催など、次の養育者へとつなぐ場としての役割を明確にしています。日々の養育実践においても、子どもを尊重した支援を重視し、ホーム会議の冒頭では「ガーデンエルの皆様へ」の読み合わせを行って理念の共有を図るなどしています。また毎月1回、虐待チェックリストを活用して子どもへの関わり方を振り返る機会を設けるなど、継続的な意識づけが行われています。
 ■玄関前にはミッションステートメントと全国児童養護施設協議会の倫理綱領が掲示されており、来訪者に対しても施設の姿勢を明示しています。
 ■養育の質の向上に向けては、個別保育記録やシステムを活用したアセスメントと評価を行っており、子どもにとって望ましい支援とは何かを組織的に検討する「子どものための委員会」も設置されています。

②	29 こどものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> こどものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにどうして、生活の場にもふさわしい快適な環境を提供し、こどものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ プライバシー保護に対する意識向上を図るため、職員会議においてその重要性を周知しています。水遊びやプール活動時のマニュアルにもプライバシーに関する記載があり、実践面でも配慮がなされています。

■ トイレや浴室が安全上オープンな構造となっている中でも、年齢に応じた対応を行い、子どものプライバシーに配慮した養育が実施されています。入浴介助についても、年齢に応じた職員の人選が行われており、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めています。また、子どもの年齢に応じて「他の人との適切な距離」についての話をするなど、社会性の習得に向けた取り組みも見られます。

■ 就業規則の服務規律には個人情報に関する記載がありますが、今後はプライバシー遵守に関する具体的な記載を加えることで、職員の意識のさらなる向上と実践の定着が期待されます。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ 入所時には、パンフレットをもとに養育・支援に関する保護者への丁寧な説明とコミュニケーションを通して不安の軽減に努めています。入所は一時保護や措置入所が中心となっているため事前の見学は行われていませんが、写真の活用等で施設の様子を伝えるようにしています。

■ 面会や手紙・写真を通じて子どもの様子を保護者に伝える取組みが行われています。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 入所時には、予防接種を含む生活に関する事項について書面で同意もらい、施設での生活の流れについても保護者の方にご説明しています。
- 搾乳の持参、離乳食の開始時期、散髪の方法など、可能な限り保護者の希望には沿うよう、柔軟な対応をとっています。
- 日常的な体調不良の際の受診については入所時に書面で同意を確認しています。また、特段の診療が必要な児童や、一時保護児童の場合は、児童相談所を通じて保護者に連絡し同意を得るようにしています。意思決定が困難な保護者の方に対しても、児童相談所との連携で、より良い選択ができるように配慮をしています。
- 確認事項や同意内容は記録システム上で管理され、職員間で共有されています。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 「措置変更とつなぎ保育」に関するマニュアルを整備しており、実施計画や子どもへの声かけなど細やかな配慮について事例を交えて記載しています。
- 子どもや保護者の様子については児童福祉司に報告し、措置変更に伴うつなぎ保育や引き継ぎ書を作成して情報共有を行っています。
- 関係機関への引き継ぎ書には、衣生活、遊び、言語、情緒、対人関係、健康、保護者との関わりなどの項目を記載し、丁寧な引き継ぎに努めています。
- 保護者へは、お手紙にて子どもの様子を記載し、写真と共にお渡しすることで情報共有に努めています。
- 退所後は家庭支援専門員が窓口となり、マニュアルに沿って家庭訪問や電話連絡を行っています。今後は、窓口に関する書面の整備とその後の相談方法についての文書の交付が望まれます。

(3) こどもの満足の向上に努めている。

①	33 こどもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	(乳児院) □こどもとの日々の関わりの中かで、こどもの満足を把握するように努めている。	○
	(乳児院) □職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	□把握したこどもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	○
	□分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■保護者の方との面接や電話を通じてコミュニケーションを図り、満足度や意向を確認し、その情報をもとにホーム会議や職員会議で情報共有を行っています。
 ■面会時には、職員と保護者の方が話した後に子どもとの会話に移るよう配慮するなど、安心して交流できる環境づくりに努めています。
 ■会議では、子どもの発達状況や新たに入所した子どもとの関わりについて話し合い、誕生日に一緒に洋服を買う、毎日の洋服選びを子どもに任せる、スイーツビュッフェとしてドーナツを選んで食べるなど、子どもが楽しめる工夫を取り入れています。
 ■「子どものための委員会」を設置し、ホーム会議や委員会での取り組みを評価・見直しすることで、継続的に子どもの満足度向上を目指した支援体制の充実に取り組んでいます。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	□養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	□苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	
	□苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
	□苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	□苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	□苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■苦情解決の体制が構築されホームページにも受付体制や対応の流れを示し、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、その内容や対応策等を記載した苦情受付記録を公開しています。
 ■保護者には苦情解決についての説明を行い、事務所前に設置された意見箱への投函、電話、ホームページのメールフォーム等で意見表明ができる仕組みが確立しています。
 ■受けた苦情等は苦情解決マニュアルに沿って、主任会議やユニットリーダー会議等を通して、職員間で共有し改善を図っています。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 面会時や電話での様子伺いの際に、育児相談などに対応する場合があります。
- 面会等の対応職員は、できる限り固定していますが、保護者の意向に沿って対応者を変更することもあります。
- 保護者等が相談したり意見を述べたりする際には、いろいろな方法があり相手も選べることを伝え、また、気軽に申出ができるよう、様式化した「相談票」などを準備することが望まれます。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

- 保護者等からの意見への対応については、各種会議（ユニットリーダー会議・主任会議・職員会議・共有会議・ホーム会議等）において共有が図られ、保護者等への説明も迅速に対応しています。
- 苦情解決マニュアルや苦情対応のフローチャートの作成、意見・相談の記録方法、報告手順等を整備し、施設内のネットワークシステムにも記録を残しています。また、相談内容や対応等については保護者等のプライバシーにも配慮した上で公開しています。
- 今後は、苦情解決マニュアルやフローチャート、対応等の手順の定期的な見直し等を行い、より養育・支援の質の向上につながる組織的な取り組みが望まれます。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- リスクマネジメントに関する責任者を職務分掌に明記し、ユニット会議や職員会議、ホーム会議、危機管理委員会等の中で、子どもの安心・安全な養育・支援の実施に取り組んでいます。
- 施設の安全体制チェックリストやヒヤリハット報告、事故報告書が作成され、こどもの安心と安全を脅かす事例の収集を積極的に行っています。ヒヤリハットについては、時間・内容・場所・発生原因・職員体制についてはプルダウン方式で記載し、児童・詳細内容・次に向けてできること・記入者・報告者欄は記入方式で様式を整備しています。
- 今後、大きな事故につながる前の防止対策として、上記のヒヤリハット報告に記録された事象について分析し、かつその内容がヒヤリハット報告もしくは事故報告であるかを整理した上で、より安全な生活空間・健康管理の徹底につながる取り組みが期待されます。

②	38 感染症の予防や発生時におけるこどもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 看護師が中心となって、感染症に対するマニュアル・看護マニュアルの整備や保健衛生会議等を実施し、感染症予防策を講じその都度対応しています。また、定期的に感染症予防や安全確保に関する伝達研修や連絡ノート等を活用し、感染症の予防に努めています。
- 感染症発生時には、その都度マニュアルに沿って必要事項を連絡ノート等に記載し、ガウン着用や手洗い・ゾーニング・消毒の徹底と方法・隔離・職員配置・保健所や他機関との連携等の具体的な対応を指示しています。

③	39 災害時におけるこどもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> こども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 地元行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体、学校、病院等と連携するなど、体制をもって避難訓練等を実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 「事業継続計画」(BCP)、防災マニュアル等に基づいて、こども及び職員の安否確認の方法を定め、災害時における乳幼児への安全確保のための取組を組織的に行っています。
- 全国一斉避難訓練への参加や「安否確認サービス」アプリの活用、毎月の避難訓練の実施、備蓄内容・持ち出しバックの中身を定期的に点検や入れ替えをするなど、災害時の必要な対策を講じています。
- 地域交流スペースや広い部屋の地震による照明の落下防止のため照明部品を変更する等、危険箇所等をホーム会議や危機管理委員会等で確認し、全職員に防災体制を周知しています。
- 災害時の訓練において、火災や不審者対応等については消防や警察等との連携は図られていますが、今後は地域の自治会や福祉関係団体、病院等とも連携する等、よりこどもの安全確保のための取組を組織的に行っていくことが望まれます。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、こどもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 養育・支援の標準的な実施方法について、各種マニュアル(ガーデンエルの基本、生活、業務、記録、アフターケア、家庭支援等を細項目でまとめられたもの)を整備し、こどもの尊重や権利擁護、プライバシーの保護にかかわる姿勢を明示しており、毎年4月の職員会議等で周知徹底しています。
- 毎月、虐待チェックリストの実施やスーパーバイズ体制を整備しており、またホーム会議や職員会議、施設長との個別面談等で、職員各々の日々の養育・支援について確認し、伝える仕組みを構築しています。
- PC内の標準的な実施方法をより徹底されるよう、文書化して全職員に配付することも検討してください。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ホーム会議で、子ども一人ひとりについての養育・支援方法についての話し合いを行っています。毎月毎に、子ども一人ひとりの発育状況等について確認し、翌月の支援方法等についても各ホーム会議で情報共有しています。また、自立支援計画については半年ごとに作成し、職員全体で把握できるようにしています。必要に応じ、マニュアル等を含めての見直しを行っています。

■養育・支援の各種マニュアルを整備し、1月あたりからホーム会議や各会議で標準的な実施方法について検証し、見直しを必要に応じて検討し、次年度4月の新任研修や職員会議等で周知しています。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもや保護者等の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■家庭支援専門相談員を中心に、担当職員やホームリーダー・ユニットリーダー・副主任や看護師、心理療法担当職員を含めた専門職も参加し、半年に1度自立支援計画を作成しています。また、アセスメントについても同様に多種職が参画して協議しています。

■発達障がい等で特に細やかな支援が必要な子どもには、ホーム会議とは別にカンファレンスを開催して検討を深め、保育所等訪問事業なども利用して、一人ひとりの特性に相応しい養育・支援の提供に努めています。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 子どもが入所して1か月を経過した後と半年ごとに自立支援計画の作成・見直しを行っています。
- 作成した自立支援計画は、ホーム会議や寮母室に置いているファイルで周知し、子どもの発達支援を効果的に実施する仕組みを構築しています。
- 今後は、子どもを取り巻く家庭状況等の変化に応じて自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備していくことが望まれます。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 こどもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> こどもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 施設内の電子記録ネットワークシステムを活用し、日々の生活記録はじめ、自立支援計画等の記録は統一された様式を用いています。管理職はじめ、支援職員や専門職員等が子ども一人ひとりの状況を確認でき、一貫性のある養育・支援ができる仕組みを構築しています。
- 各種会議録や日中・夜間記録、朝夕の引継ぎ、エルノート、病児記録、月まとめ、週まとめ等を記録し、全職員で共有できています。
- 日々の記録等については、マニュアル（記録の書き方とチェックポイント、病児観察記録の書き方他）に基づいて記録ができるよう整備しており、職員間で差異が生じないようにしています。

②	45 こどもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、こどもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
<p>■ 個人情報については、職員が入職時や保護者には入所の手続きで説明を行い、個人情報の取り扱いについての誓約書に同意した文書を保管しています。</p> <p>■ 子どもの情報管理について、個人情報の取り扱いや文書の保存期間等を明記し、その記録の保管・廃棄方法については職員会議で情報共有し、注意喚起しています。</p>		

内容評価基準（22項目）

A-1 こどもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) こどもの権利擁護	①	A1 こどもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	第三者評価
		<input type="checkbox"/> こどもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○	
		<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○	
		<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○	
		<input type="checkbox"/> こどもが自らの権利について理解を深めるよう、日常生活を通して支援している。	○	
		<input type="checkbox"/> こども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることが、こどもに伝わるような養育を行っている。	○	
		【判断した理由・特記事項等】		
<p>■ こどもの権利擁護の取り組みとしては、就業規則等の規程や各種マニュアルを整備し、毎月個別に虐待チェックリストを用いて日々の養育について振り返りを行い、また職員会議やホーム会議等でも職員間で周知を図っています。その都度権利侵害事案があれば、各会議内で報告し情報共有を図っています。</p> <p>■ 初任者研修や人権研修の実施、外部講師による内部研修や外部研修への参加、子どものための委員会の開催等を通して、こどもの権利擁護や「安心感の輪」の理解等を意識した様々な取り組みを行っています。</p>				

(2) 被措置児童等虐待の防止等

①	A2 こどもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■ホーム会議や職員会議の中で、具体的な例を挙げて不適切なかかわり防止と早期発見に努めています。また、月1回の虐待チェックリストの実施やS V体制による面談から日々の養育の振り返りや指導等を行っています。

■各種マニュアル（不適切対応マニュアル、子どもの注意の仕方等）を整備し、被措置児童等虐待の届出・通告制度について、会議等で職員に周知・理解を図っています。

■夜間の職員体制の増加や配置基準以上の人員配置等を行い、不適切なかかわりの防止に向けた取り組みを行っています。また、子どもの状況に応じた職員体制の見直しについては、ユニットリーダーに相談し適宜対応しています。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本

第三者
評価

①	A3 こどものこころによりそいながら、こどもとの愛着関係を育てている。	a
	<input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもと養育者の信頼関係が築かれ、こどもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	○
	<input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■個別担当制により、乳幼児に対して受容的・応答性の高い関わりを心がけています。また、個別外出や誕生日、イベント（お食い初め・七五三のお祝い他）を実施し、個別対応表を用いて個別対応の実施状況を把握しています。

■アタッチメントの観点から、0歳から1歳以上のホームに移動する際に基本的には担当職員が変わらないように体制を整備しています。また、ホーム移動の環境変化に考慮し子どもの安定・安心を心がけ、段階的に“慣らし”を行っています。

■職員間で、アタッチメントや「安心感の輪」等の理解・促進できるように内部・外部研修への参加や定期購読の書籍を購入しています。

②	A4 こどもの生活体験に配慮し、こどもの発達を支援する環境を整えている。	a
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達やこどもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	○
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じるこども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりのこどもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	○
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 午前・午後の活動時間では、月齢を分けて保育することを意識し、一人ひとりにあった日々の生活リズムや発達段階、特性等を意識した関わりができるように工夫しています。
- 個別の服や玩具、食器、寝具等、個別化を図り、季節に合わせた遊び（散歩、プール、自然や地域との触れ合い、製作、簡単な調理のお手伝い等）を行い、子どもの発達を支援する取り組みを行っています。
- 遊ぶ環境を固定せず、その日の天気やホームの状況に応じて、様々な環境における遊びを取り入れています。また、1対1の個別の時間も確保し、個々の子どもの生活体験に配慮した養育環境を整えています。

(2) 食生活

①	A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	○
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 自律授乳を基本とし、子ども一人ひとりのリズムや体調に合わせて量や時間を工夫しています。常日頃より保育士や看護師、栄養士が連携し、子どもの状態を把握し、ホワイトボードや検食簿、日中夜間記録等の申し送りで情報共有を行っています。
- 授乳時は抱っこ授乳により、子どもに合わせた量・時間・乳首等を考慮した授乳方法で対応しています。一人飲みはさせず、授乳後は体を起こし、吐乳や溢乳等を防ぐために排気を十分に行っています。
- ミルク飲みが悪い子どもは、病児記録で授乳量を把握し、また必要に応じて体重測定を行い、体重に合わせた目標ミルク量を算出して、適正量が哺乳できるように毎日確認しています。

②	A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	○
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	○
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■子どもたちの月齢に関係なく、個々の体調や成育歴等を考慮して離乳食をすすめています。また、保護者の希望も確かめながら、栄養士とも話し合い個別に対応しています。アレルギー情報を十分確認したうえで、また離乳食を進める中で症状が認められた場合などには嘱託医に相談しています。

■昼食時やおやつ時に厨房職員が離乳食を食べている様子を見て、厨房会議やごちそう委員会等でホーム職員と話し合い、子ども一人ひとりの咀嚼等の食事の状態を把握し食べ物の固さ等の確認を行っています。また、離乳食の形状を評価し個別に対応しています。

■今後も、栄養士や調理員と養育者と連携してできる限り子どもたちの咀嚼や嚥下の状況等を確認し、個々の発育状況や体調を考慮し離乳食を提供していくことが期待されます。

③	A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気でき食事ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持つて食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、こどもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	○
	<input type="checkbox"/> 日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	○
	<input type="checkbox"/> お腹がすくりズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

■それぞれの発育に見合った椅子や机を使用し、乳幼児用のスプーンやお皿など子どもの状態に合わせた食器も用意し、コップやスプーンは個別のものを使用しています。声かけをしながら、楽しい雰囲気になるように心がけています。食後は、居室内の清掃を徹底しています。

■厨房職員と協力して、ホームクッキング等を実施しています。また、中庭で野菜菜園を行い、収穫した野菜（トマト、いんげん他）を子どもたちと調理場面を共有する取り組みも行っています。

■厨房職員が食事の様子を見て、子どもたちの食べ具合等の把握を行い、また検食簿やごちそう委員会の中で子どもの嗜好を確認しています。

④	A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	○
	<input type="checkbox"/> さまざまな「食育」への取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 「ごちそう委員会」では食に関する意見交換を行い、病児食やアレルギー児の除去代替食の提供についての「対応表」を作成しています。
- 家庭菜園を取り入れており、栽培・収穫を通して食材に触れたり（とうもろこしの皮むき体験等）するなど、様々な「食育」への取り組みを計画、実施しています。
- アレルギー食の提供時は、お盆・食器・食札は専用のものを使用し、ホーム職員と厨房職員でダブルチェックを行い提供しています。
- 栄養士や調理員による手作りおやつ（餃子の皮ピザ等）の実施や、夏野菜（オクラ・ナス・ピーマン・トマト）を用いたメニューやスイカ、かき氷等の季節感も味わえるような様々な取り組みが行われています。また、栄養士や調理員が交互に月1回子どもの食事場面の様子を見に入っています。

(3) 日常生活等の支援

①	A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	○
	<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主なときは前開きのものを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中の中の出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもが好きな衣類を選択できるよう配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 衣類の素材は、肌着やズボン、ロンパース等の衣服を綿100%（1歳以上は95%以上）で揃えています。新生児以外は、普段着・上着等を個別で所有しており、年齢に応じて自分で選んでいます。
- 子どもに合わせた衣類調整とともに、室内に室温・湿度計を設置し、室内の快適な環境を整えています。
- 月齢の高い子どもが好きな衣服を選ぶことができるように、手に取りやすい位置に衣服を収納しています。
- 衣類購入時は、担当職員と子どもと一緒に選ぶ機会を意識するように心がけており、「子どものための委員会」等で話し合い、職員間で周知しています。

②	A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	○
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	○
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	○
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 子どもが入眠後、室温計、湿度計を設置し、空気清浄機と加湿器を使用して適切な環境を保っています。
- リースマニュアルに沿って、定期的にシーツ交換・敷パッド・毛布等の交換、洗濯や布団乾燥等を行っています。
- 子どもたちが安心・快適に眠れるように、入眠しやすい音楽を流し季節に合わせて衣類調整を行っています。アトピー肌の子どもには、別途シーツやガーゼタオル、その他冷感マット等を使用し、個々に合わせた寝具を提供しています。
- 入眠中は、15分ごとに子どもの呼吸等のチェックを行っています。また、1歳未満と入所後1週間まではベビーセンサーを使用しています。
- ホーム会議で、一人ひとりの睡眠状況の把握や安心して眠りやすい方法の情報共有を行っています。季節や子どもの発育や体幹の特徴に合わせて、睡眠時間や寝かしつけのタイミング、ベッドから布団への移行時期等、個々に応じてよりよい睡眠環境を考え取り組んでいます。

③	A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	○
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	○
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 健康状態が良ければ毎日入浴し、体調に合わせてシャワー浴や清拭で対応しています。夏場で発汗等があれば、午睡前にシャワーを浴びています。また、ベビーバスは1か月検診が終了するまで使用しています（以降は親子入浴）。入浴後は、浴室の清掃、換気を行い、感染症が流行っている場合は消毒も行い、清潔を保っています。
- 浴室用の玩具を用意し、職員と一緒に安心してできる時間・空間になるように配慮しています。
- 1歳6か月までは1対1で入浴し、それ以降も子どもの発達等に合わせて適宜対応しています。

④	A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ホーム会議で、子どもの排泄の様子を共有し、ホーム会議で子ども一人ひとりに合わせた排泄の支援について話し合っています。
- トイレトレーニングは、子どもの発達段階に合わせ、トイレに促す声かけや頑張り表の使用、トイレの壁に絵を飾る、排泄の絵本の読み聞かせをするなど、排泄への意識づけ（関心が持てる工夫）を行っています。
- 遊び等の活動前におむつ交換を行い、おむつ内の皮膚を清潔に保ち気持ちよく活動できるように配慮しています。

⑤	A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	b
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかわりができるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育者や他のこどもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> こどもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> こどもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ホーム会議や「子どものための委員会」の開催、自立支援計画等を作成する中で、子ども一人ひとりの発達に合わせた戸外活動や様々な遊びについて話し合っています。午前中に外遊びができるように、施設全体で職員の配置を調整しています。また、年間を通して個別外出も計画し実施しています。
- 室内遊びは、子ども5人に職員1人の配置のため、全体的に安全を守りながらの遊び方が多くなる傾向もありますが、年齢別で過ごす時間を設けることで、遊びの内容をよりふさわしく充実させるように努めています。
- クリスマスや誕生日プレゼントなどの玩具は個人のBOXに収納していますが、好きな時に自分の玩具で遊ぶことができるように、普段使いの玩具BOXにも分けて収納しています。
- 全体の玩具は特に誤飲に留意し選択されています。また、室内でも体を動かして遊べる大型玩具やマット類も用意しています。その他、プリンカップやペットボトル廃材を再利用して様々な遊びが提供できるよう工夫しています。
- 現在は年(月)齢幅のある縦割りホーム制であり、各々の子ども手の届く高さに差があるため、玩具の収納位置が悩ましい状況にあります。今後は部屋の機能性を少しでも高める工夫が必要と思われる。

(4) 健康

①	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 毎日の申し送りには看護責任者(看護師)も参加し、子どもの健康状態の情報共有を行っています。
- 異常があれば、看護師と相談のうえで受診しています。予防接種も看護師が予定を決めて実施しています。
- 予防接種依頼書等の保護者への同意の手続きは、家庭支援専門相談員が調整しています。
- 嘱託医連絡会を毎月1回開催して情報共有し、個人の課題について話し合っています。
- 離乳食でアレルギーの出やすい食材を初めて口にする時は、スコアリングノートを用いて摂取後48時間観察しています。

②	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 看護日誌や病児記録等にはネットワークシステムを活用し情報共有しています。
- 薬チェック表に、個人の服薬内容と確認欄があり、服薬させた職員もサインをしています。服薬の際は、看護師と保育者の二人体制で行い、また翌日の薬を用意する際もダブルチェックをしています。病状の変化がわかるように病児記録へ記載し、嘱託医へ速やかに連絡できるようにしています。
- アレルギー症状があれば外来受診を行い、医師の指示に従ってアレルギーの除去や決められた量を摂取しています。施設内では、離乳食を進めるにあたって、初めて口にする食物を少量ずつ提供して様子を見るようにしています。
- 入所時検診と年2回の定期検診を行っており、また夜間や休日にも嘱託医と連絡が取れる体制をとっています。

(5) 心理的ケア

①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■毎月外部の専門家による心理療法担当職員へのスーパーバイズを実施し、年2回施設内研修にも招いています。

■心理療法担当職員は、内外の研修や処遇困難事例検討会にも参加しています。

■保育士と個別面談の時間をもち、心理的なサポートの必要があればカウンセリング等も実施しています。

■自立支援計画の作成時やホーム会議に心理療法担当職員が参加し、セラピーの経過やスーパーバイズ記録、セラピー実施状況表、各種アセスメントシート等を使って、こまめに担当保育士等と子どもの姿を共有しています。また、気がかりな子どもに関しては、普段の生活の様子を観察に入ることもあります。

■毎週、2歳前後の子どもへのプレイセラピーを実施しています。また、状況に応じて心理療法担当職員も保護者等の面会場面に入り交流しています。保護者支援についても、担当職員だけでなく心理療法担当職員と相談する機会を設けています。

(6) 親子関係の再構築支援等

①	A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共にこどもの成長を喜び合う雰囲気を大切にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に対応するための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	○

【判断した理由・特記事項等】

■保護者には主に家庭支援専門相談員やホームリーダーと担当職員が対応し、面会前に日常の様子や子どもの成長の様子等を伝えています。

■誕生日その他の行事等では保護者と一緒にお祝いし、家族と共に子どもの成長を喜び合うことを大切にしています。

■必要に応じて面会に職員が同席し、子どもの年齢や月齢、発達状況等に応じた関わり方（ミルクや離乳食の作り方、ご飯や入浴介助の方法等について）を伝える機会を設けるなど、養育スキルの向上につながる支援も行っています。

■面会が少ない保護者へは、写真や手紙（母の日・父の日カード等）を送付し、交流を促しています。

■必要に応じて、電話等による相談や面会後に保護者の話を聞く機会をもっています。

②	A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	○
	<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- ネットワークシステム内の関係機関記録や日々のホーム日誌、個々の自立支援計画等で個々の状況を把握し、積極的に家族支援を行っています。
- 児童相談所と密に連絡を取りながら、親子関係の情報共有や今後の対応についてその都度協議し、必要に応じて、保護者も交えた三者協議を実施し、親子関係再構築に向けた支援を行っています。
- 日常生活の中で、保護者の話題を出すようにしたり、保護者との関係が途切れないように「だいいなものブック」や親の写真を見たりする機会を持つなど、子どもに合わせた対応を実施しています。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

①	A19 退所後、こどもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> こどもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 家庭支援専門相談員を中心として、措置変更後にアフターケアを実施しています。また、里帰り会の開催やつなぎ保育を行い、退所後のこどもの安定した生活を送ることができるよう取り組んでいます。
- 措置変更等退所先に応じて引継ぎ表を作成し、措置変更先の施設と連絡を取り、担当保育士が会いに行く等、施設間で連携しライフストーリーワーク等も実施しています。
- 退所に向けては居住地域の関係機関とのカンファレンスを持ち、退所後も機関との連携を図りながら継続した支援に取り組んでいます。必要に応じて家庭訪問を行い、保護者の安心をサポートしています。
- 家庭支援専門相談員を中心に退所後の相談にも応じ、児童相談所とも情報の共有を図っています。

(8) 継続的な里親等支援の体制整備

①	A20 継続的な里親等支援の体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親等委託を推進している。	○
	<input type="checkbox"/> 里親等委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 里親等委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 里親等委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所・里親支援センター等と丁寧な連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親等の状況に応じた取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 里親希望者のボランティアの受け入れや里親登録前施設実習を実施しています。
- 里親委託に向けたつなぎ保育の実施を行い、また委託後も各関係機関と協働して家庭訪問等を行っています。
- 他施設の里親支援専門相談員と連携して、地域の市役所や大型ショッピングモール等で里親希望者に向けた相談会の開催や里親制度を知ってもらえるようチラシの配布、掲示等による啓発活動などを行っています。
- 里親への定期的な家庭訪問や電話相談を継続的に行い、また里親への研修や里親同士が交流できる場の提供、里親家庭の状況に応じたレスパイトの受け入れ等も行っていきます。

(9) 一時保護委託への対応

①	A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 入所時の健康管理に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な職種が連携・協働し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

- 受け入れ時にはマニュアルに沿って(虐待の痕跡など)全身のチェックを行い、子どもの様子を具に観察しています。また、児童相談所と連携して、家庭環境等の情報共有を行っています。
- アレルギー情報がない場合の対応(卵・小麦・牛乳除去食での対応等)を予め決めており、子どもの安全・健康管理を徹底しています。
- 入所後二日間は病児記録によって丁寧な体調管理を行っています。加えて、環境の変化に伴う乳幼児突然死防止のために、一週間はベビーセンサーを使用して観察と配慮に努めています。
- 入所後一か月が経過したのち、子どもの発育状況等を踏まえて心理療法担当職員も加わり、アセスメントシートを作成しています。
- 一時保護解除後も児童相談所や各関係機関と連携し、家庭支援も行っていきます。

②	A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
□児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。		○
□緊急一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。		○
□観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。		○
□入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。		○
□感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。		○
□受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。		○

【判断した理由・特記事項等】

- 一時保護入所時のマニュアルに沿って、児童福祉司とともに全身チェックや検温を実施し、異常があればその場で医療機関に受診を依頼しています。また、一時保護委託前の子どもの家族や保育園等で感染症の有無を確認し、体調の不良が見られた場合には隔離体制で対応しています。
- 子どもの状態によっては、入所後からでも医療情報提供書や看護サマリーを受け取り、健康上の対応困難事例については囑託医に相談しています。
- 1歳以上は入所後から1週間、また1歳未満は一時保護期間中はベビーセンサーを使用しています。
- 緊急一時保護の受け入れ後、ケース会議やホーム会議で子どもの対応等について話し合いを行い、アセスメントシートを作成しています。